

NEWS

新入社員安全衛生教育・研修会 開催

安全衛生委員会（加山昌弘委員長）は、職場における安全衛生水準の向上、労働災害のより一層の減少を図るため、新入社員（概ね入社後3年以内）の「安全衛生教育・研修会」を、9月10日（月）午後1時30分から、協会3階会議室にて22社30名の新入社員が参加して開催されました。



挨拶をする
平沼安全衛生副委員長

開講の挨拶で、安全衛生副委員長 平沼辰雄氏は、「過日8月20日に事業主の方対象の労働安全衛生教育の研修会が開催され、本日は入社3年以内の方を対象に安全衛生教育の研修会を開催いたしました。現在産廃業界は労働災害が非常に多く、事業主の方の努力だけではなく新しく入られた方にもご協力いただき、会社全体でチームワークを組み、しっかりと安全衛生に臨んでいただきたいと思います。本日の研修を受けられた皆様は、安全に対する考え方を社内では是非推進していただきたいと思います。」と述べました。



解説をする
(株)相建 荒賀氏

研修Ⅰは、(株)相建代表取締役 荒賀剛志氏を講師としてお招きして、研修資料の①～⑨について解説と同社の事例についてお話しされました。

①安全衛生管理の必要性 ②労働災害統計 ③労働安全衛生法の体系 ④安全のルール ⑤ハインリッヒの法則 ⑥ヒヤリ・ハットとその事例 ⑦危険予知（KYT）のすすめ ⑧職場で実践する危険予知活動（KY）指差し呼称 ⑨作業（仕事）に関する心得

荒賀氏は安全保護具の適正な使用について、時折頭にタオルを巻いてその上にヘルメットを被っているのを見かけるが、タオルがあるためヘルメット

が固定できず頭部を保護できないため止めてくださいとのことでした。また、同社において作業にあたる際は、必ずヘルメットを装着するとのことでした。多くの事例は参加者にも同じような経験があり、改善されるべき内容に気づいた解説でした。

研修Ⅱは、(有)愛知環境センター代表取締役 東久保真弓氏を講師としてお招きして、研修資料の⑩～⑱について解説と同社の事例についてお話しされました。



解説をする (有)愛知環境センター 東久保氏

⑩整理整頓 ⑪正しい作業服装の基準と正しい保護具 ⑫事業場内の通行 ⑬5S運動（活動）⑭熱中症と対策 ⑮メンタルヘルス ⑯危険物・有害物の取扱いについて ⑰災害時の対応と救急措置について ⑱労働災害事例について

東久保氏は熱中症対策として、今年は経口補水液が品薄状態になり、社内が必要となる飲料の確保に困りWeb購入を活用したとのこと。また、メンタルヘルスについて、同社では社内でのコミュニケーションとして、ボーリング大会を年2回実施、また全体会議を月2回開催し、全社員の意見交換を行い社内の活性化を図っているとのこと。

閉講の挨拶を協会専務理事 渡邊 修氏が述べ、修了証の授与があり研修会は終了しました。

